

## しのばず自然観察会より 2026-8 2026.08.24

### 2026 年9月の活動 不忍池定点観察 9月6日(日)



集 合:午前10時 不忍池 蓮池西南端

野外ステージ西側

(湯島天神下交差点寄り) 緑の小旗あり

今回は雨天中止

持 物:筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具、帽子

(マスク、敷物、昼食、日傘)

解 散:午後1時頃、ボート池テラスの予定

参加費不要 非会員の参加歓迎

徒歩 20 分程の園路を 1 時間半かけて歩きます。

初参加の方は、事前にメールで連絡を!

10月の定点観察は11日(日)の予定 ほかに50年史出版記念の集いを検討中

### 2026年7月26日 不忍池定点観察より 小川千恵子

9:25 晴時々曇り その後雷雨

目の前をアゲハが飛ぶ。ボートが岸に寄り過ぎないように張られているロープの上にシオカラトンボがとまる。ウチワヤンマもいる。ドバトは草地にすわる。スズメもいる。

白いツバの花。昨年より丈が伸びて 30 cm 位か? 池の北を見ると、ひっくり返したボート型のブイの北側の筏のうえにコサギ。首を縮めて水面を見る。餌探しか? 少し南下すると、別のコサギが陸に上がっている。落ちつきなく北へ行ったり、南に行ったり。何しているの?

しばんだオレンジ色の花はコマツヨイグサ?

トリモニュメントのところで、白い蝶。モンシ



ソバの花

ロチョウ？ヤマトシジミも飛ぶ。シオカラトンボが水上を飛ぶ。ヘラオオバコの花は上の先っぽ近くに咲き、そろそろ終わりかなあ？と思う。イネ科の細い葉が多数。

タチアオイは丈が50cm～1m弱。花はほんの少し。一度咲いて枯れて、刈られて、たぶんその後には育ってきたらしい。

シマスズメノヒエ、メヒシバ、オヒシバ。オヒシバは少ない。ポート池南のひっくり返したポート型のブイの上に、背中グレーが目立つ大きなアオサギが立つ。

### 集合地

アオサギの放棄した巣はそのまま。元看板のあったところには黄色のカンナが咲く。公園事務所の方が通り、挨拶をかわす。

蓮は花が少ないなあ、と感じる。緑の実も見える。ヒヨドリが飛ぶ。

通路南、吉野の山桜の木があるあたりの通路に喫煙所が設置されている。下は透明、上は曇っていて中は見えない。天井はつつ抜け。せめて天井をふさぐとか、フィルターを介して空気を出すとかできないものか？禁煙の札の下がる池の周りに、喫煙所とはいかがなものか？？？

野音手前の池の中のコンクリートの水受け(?)の上に甲羅 10 cm位のカメ 3 匹。右のはアカミミガメ。残り 2 匹はクサガメ。クサガメの眼はまん丸黒目。その横を甲羅 15 cm位のアカミミガメが泳ぐ。シマサルスベリは白い花が咲く。シオカラトンボが飛ぶ。

野音入口では、にわかカメラマンたちが集まって受付をしている。ゆかた姿のモデルを撮るもの。(おじさんばかり！と思っていたら、そのあとポート池北のところの撮影グループに若い女性カメラマンを発見。)

白い部分が通常より長いコシアキトンボが飛ぶ。



新設の喫煙所

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL:<http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000 円  
E-mail.: [uenoyanesen25@yahoo.co.jp](mailto:uenoyanesen25@yahoo.co.jp) (at を@に替えて送信してください)

\*\*2025 年以前の会費未納の方も忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ\*\*

浮き橋前から屋台、販売テント、車が並ぶ。橋の両側の風鈴は少なめ。昨年と同じくカラカラと乾いた軽い音が鳴り響く。橋の入口と出口の間の陸地には、天井によしが張られて風鈴が下がり、その下にはテーブルとイスが並ぶ。屋台で買った物はこちらで食べてくださいということか？

橋の中央にはこれでもか、と並べられた大小の和傘の大きなつい立てが立つ。ビニールで覆われている。全く美しくない。

背中に水色が見えるヤンマが西へ飛ぶのを見つける。何？

橋の上で、花を手にしなから KO さんから蓮についてのお話を伺う。目の前に咲いているのは3日目の蓮の花。花粉は無い。花の真中は花托。その周りにぎっしりと伸びている黄色い糸のようなものがオシベ。オシベの先っぽはふくらみ、その下半分くらいまでの糸状の部分が花

粉が入った葯(黄色)、その下根元までの色が薄い部分が花糸。花が咲いた1日目は、黄色い部分は短く、2日目には2倍に伸びて、花粉を出す。そのオシベ群の中に1本だけ、10倍以上の太さの白い棒状のものが伸びている。これは花びらになれなかったオシベ。花びらは、もともとオシベが変わったもの。

別の花の中をのぞいてみると、棒状のものは無いが、真中に1片、小さい花びらがある。その花びらは、先っぽが縮んでいるように見える。その先っぽを良く見ると、オシベの先についていた白い膨らみが付いている。



ハスの花の断面(202507.13撮影)

また別の花の中をのぞくと、同じようにひとつ小さな花びらがある。。花びらは元々オシベがかわったものとは以前にもうかがった。でも具体的に花びらになれなかったオシベを教えてもらい、また花びらになりかけているオシベを実際に見て、とても納得がいった。

蓮の花の<sup>ひと</sup>単えは花びらが20枚までと言う。で、上記の3個の花の数は20枚と21枚だった。花びら50枚以上を<sup>やえ</sup>八重と呼ぶ。22枚から49枚までは？と質問すると、30枚等というのは見たことが無い、と。単えは花びらの大きさがそろっている。

蓮の葉の真中は、少し白い。そこに空気穴があって水中の茎につながっていて、空気が入りしていることは以前に教わった。葉の外周で、葉脈が伸びきったところにも空気穴があるとのこと。例えば、大きい葉の外周にそって、3~5cmぐりりと切り取って、葉柄から水を流し入れると、葉脈の先から水が出て来る、と。一度実際にやってみたいなあ！

蓮池東側は、池側にテントがセッシリ並び、池には近づけず、蓮を見られない。どうして池側を開けて、テントは東側に並べないのだろう？不忍池に蓮見を目的に来る人も多いのに、ここでは全く見せてもらえない。

ちょっとテント列が切れたところで、ギンギシ。オッタチカタバミは黄色い花が咲く。オッタチカタバミは茎が立ち上がる。カタバミは地面を這う。葉のつけ根の托葉がオッタチは小さく紡錘形。カタバミはハート型で茎を抱くような形。カモジグサ、タンポポ。

東側にもうひとつ和傘の巨大つい立て有り。弁天堂入口近くは、こっとう市のテントが並ぶ。

弁天堂入口辺りは、ハスの花は無い。東側の崖の方からシャーというクマゼミの声が一段と激しくきこえる。

カワウが1羽。

いつも水が流れ込んでいる所に、今日は水は出ていない。参道に入って、北側の藤棚にはうす紫色の花が何本もたれ下がる。

弁天堂南の藤棚南東端のジュズ玉は丈が伸び、隣の方にあるものより2倍に伸びている。それにヘクソカズラがからみついて花を咲かせている。

柿の実は3~4cm大になった。カヤは葉が茶色を帯びている。実は少しくすんだ緑色。大丈夫？

カワウの島のカワウは少ない。落羽松はまた大きくなった？カワウよけのロープはかけられたまま。動物園内のメタセコイア同様、カワウの巣は見られない。

弁天堂を出て、北へ行くか？南に行くか迷うが、ポート池西側で、今朝ウチワヤンマを見たので、北へ行くことにする。

ピンクのキョウチクトウが咲いている。花は少ない。盛りはこれから？？その中にまだしぼんでいないキカラスウリの花を発見。はじめ、カラスウリだと思ったが、調べてみると、花が朝にし



キカラスウリ



花を拡大して見ると

ぼむのがカラスウリ、昼まで開いているのがキカラスウリ、花の形も前者はヒトデのような5裂した星(☆)形の先端がレース状なのに対し、後者は5裂した星型のそれぞれがさらに2裂してその先にレースが付くと。

池側のヤブガラシのオレンジ色の花が咲き始めている。調べると、花はオレンジ色からピンク色に変わり、甘い蜜が豊富に出ると、書いてあった。

チョウトンボ1が飛ぶ。コシアキトンボ。アブラゼミの鳴き声の嵐が動物園内メタセコイアの方から。

ボート池北側の水面をミズスマシが走る。ヒメジオン。紫色の花のニワゼキショウ。シマスズメノヒエ。

太鼓の音が鳴り響く。そういえば蓮池東側に小さな舞台が作られていた。

ウコンサクラの東の柳の木の下の方にサルノコシカケが育っている。きっともう木の中までやられているのだろう。

#### 浮き橋

10~20 cm位の大きさのアオコ(?)が水面を漂う。浮き橋の終わり頃に、上空をトンボ5~6匹が舞っている。少し小さい気がする。KO「シオカラトンボのメスか?」と。

白い花のソバ。コマツヨイグサ(咲き終わった花がオレンジ色なので)、オッタチカタバミ。カヤツリグサ。

池の中の鉢のピンクの花はミソハギ。ミソハギの周りに棒状の物が立つ。これはフトイ、カヤツリグサ科フトイ属の水生多年草。フトイは太いではなく太藷、太いイグサの意味。実際はイグサ科ではなく、その姿もイグサに似ているわけではない。古名は「ツクモ」。

ピンクの花はコヒルガオ、と。ムラサキカタバミのピンクの花。ウチワヤンマは見えず。チョウトンボが飛ぶ。

何年もの間、「謎の葉」としていたがスマホで写して調べると、ディコンドウ、ダイコンドラと出た。アオイゴケ、カロライナアオイゴケ。

ボート池の水面をカルガモが目の前を北上する。池の中央を見ると、池に4羽がいる。と、見ていると手前にカイツブリが浮く。すぐ潜って、他へ出、また潜る。何回か繰り返して、嘴に何かをくわえて出て来て、飲み込む。